

SKYLIGHT 〈今月の焦点〉	ISO が開いた新しい赤外線天文学 .....	奥田 治之	8
EUREKA 〈研究紹介〉	中性子星グリッチの起源 .....	望月 優子	19
	— さいしょの微視的モデルを構築して —		
短期連載	銀河中心核文明 (降着円盤文明) その4 (第1回) ...	福江 純	32
	「光の壁」		
ASTRO NEWS	私の星間分子 30 年 .....	海部 宣男	42
新天体を求めて	「新星との出会い」 .....	山本 稔	53
シリーズ	《 <small>そらとぶ</small> 天空翔ぶ天文台 (I)》 .....	井上 一 × 上野 宗孝	58
	イントロダクション		
雑報	日本天文学会早川幸男基金による .....		60
	渡航報告書		
寄贈図書リスト	.....		61
月報日より	.....		61

[ 表紙説明 ]

図 11 (左上) 牡牛座ロー星 ( $\rho$ -Oph) 付近の暗黒星雲の赤外線像 (ISOCAM: 波長  $7\mu$  (青色),  $15\mu$  (赤色)), 視野  $45' \times 45'$ . さまざまな段階の星形成領域が見えている. 図 14 (右上) ロックマン・ホールの中間赤外線ディープサーベイ (ISOCAM,  $7\mu$ ),  $3' \times 3'$ . 図 15 (右中) アンテナ銀河の赤外線像 (ISOCAM,  $7\mu$ ,  $15\mu$ ),  $2' \times 2'$ . 二つの銀河 (NGC4038, NGC4039) が衝突して腕が交叉した部分 (A) が最も明るい. 図 16 (下) ロックマン・ホールの遠赤外線ディープサーベイ (ISOPHOT,  $90\mu$  (左),  $170\mu$  (右)), 各々  $40' \times 40'$ . (SKYLIGHT 参照)

**Design Concept** ●表紙イラストレーション: 藤居保子

かつて、天上を見上げ、外への拡がりに想いを馳せた時、我々は進み行く方向を知った。現在、素粒子の世界は、時間を戻ること宇宙を解き明かす。未来への旅と過去への旅。どちらが遠いのかは解からない。

表紙は、左に太陽系への進航、右に素粒子物理学を置き、「行く」と「戻る」こと、そんなひとつの見方をイメージしたとき、対称的に両者の映え合う画面創りが出来ないかと考えた。

さかのぼ遡り、その始まりをさが探しながら、未知なる領域への進出を止めることはない。人間の本能のどちらであろう。押さえられない知的好奇心か、それとも、人類が生きてのびる為か。